

## 環境科学A

〔例題1〕 北海道環境基本条例に関するア～ウの記述の正誤の組合せとして妥当なのはどれか。

- ア. 事業活動に伴って生ずる公害の防止又は自然環境の適正な保全のため、事業者の講ずべき措置を具体的に規定し、罰則規定も設けている。
- イ. 知事は、環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、環境基本計画を定めなければならない、環境基本計画を定めるに当たっては、あらかじめ、北海道環境審議会の意見を聴かなければならない。
- ウ. 知事は、環境の保全及び創造に関する施策に、道民の意見を反映することができるように、環境保全推進委員を置くこととしている。

	ア	イ	ウ
1.	正	正	正
2.	正	正	誤
3.	正	誤	正
4.	誤	正	正
5.	誤	誤	誤

【正答4】

## 環境科学A

〔例題2〕 循環型社会形成推進基本法第7条各号の規定による「循環資源の循環的な利用及び処分の基本原則」の空欄ア～エに該当する語の組合せとして妥当なのはどれか。

- 一 循環資源の全部又は一部のうち、をすることができるものについては、がされなければならない。
- 二 循環資源の全部又は一部のうち、前号の規定によるがされないものであってをすることができるものについては、がされなければならない。
- 三 循環資源の全部又は一部のうち、第一号の規定による及び前号の規定によるがされないものであってをすることができるものについては、がされなければならない。
- 四 循環資源の全部又は一部のうち、前三号の規定による循環的な利用が行われないものについては、されなければならない。

	ア	イ	ウ	エ
1.	再使用	再生利用	発生抑制	処分
2.	再使用	再生利用	発生抑制	熱回収
3.	再使用	再生利用	熱回収	処分
4.	再生利用	再使用	熱回収	発生抑制
5.	再生利用	再使用	発生抑制	処分

【正答3】

## 環境科学A

〔例題3〕 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に関するア～ウの記述の正誤の組合せとして妥当なのはどれか。

- ア. 野生鳥獣の捕獲には「狩猟」と「許可捕獲」があり、「狩猟」は狩猟期間に法定猟法により狩猟鳥獣の捕獲等を行うことで、「許可捕獲」は法で定める目的で捕獲許可を受けて鳥獣の捕獲等又は鳥類の卵採取等を行うことである。
- イ. 第二種特定鳥獣管理計画とは、その生息数が著しく増加し、又は生息地の範囲が拡大している鳥獣の管理に関する計画であり、環境大臣が策定するものである。
- ウ. 鳥獣保護区は、鳥獣の保護を図るため、必要があると認められる地域に環境大臣又は都道府県知事が指定するもので、鳥獣保護区内においては、狩猟が認められない。

	ア	イ	ウ
1.	正	正	正
2.	正	正	誤
3.	正	誤	正
4.	誤	正	正
5.	誤	誤	正

【正答3】

## 環境科学A

〔例題4〕 北海道に生息または生育する特定外来生物に関するア～ウの記述の正誤の組合せとして妥当なのはどれか。

- ア. セイヨウオオマルハナバチは原産地がヨーロッパで、日本にはトマト等の温室栽培の受粉に利用される目的で輸入されている。胸部及び腹部が黄色と黒色の縞模様で、腹部の末端は黄色である。
- イ. ウチダザリガニは原産地がアメリカ北西部で、水産資源として北海道に導入された。繁殖能力が強く、魚類、底生生物、水草などを捕食し、水草を切断し減少させる。
- ウ. オオハンゴンソウは原産地が北アメリカで、日本に観賞用に導入されたものが野生化し、北海道では大群落がみられる。勢力が広がり在来種にとって深刻な状況であるため駆除が行われている。

	ア	イ	ウ
1.	正	正	正
2.	正	正	誤
3.	正	誤	正
4.	誤	正	正
5.	誤	誤	正

【正答4】